

引用文献

安梅 勅江. (2017). エンパワメント科学：だれもが主人公 新しい共生のかたち. 認知神経科学, 19(1), 1-6.

Butwick AJ, Bentley J, Wong CA, Snowden JM, Sun E, Guo N. (2018). United States state-level variation in the use of neuraxial analgesia during labor for pregnant women. *JAMA Network Open*, 1(8), e186567.

藤原 瑞枝, 里 明美, 濱口 さおり, 魚川 礼子, 龍見 信哉, 山崎 峰夫. (2014). 医師・助産師の協働による無痛分娩応需体制の確立～助産師の視点から～. 分娩と麻酔, (96), 94-100.

グレッグ 美鈴, 麻原 きよみ, 横山 美江. (2016). よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 第2版 看護研究のエキスパートをめざして. 医歯薬出版株式会社.

長谷川 文, 村上 明美. (2005). 出産する女性が満足できるお産—助産院の出産体験ノートからの分析—. 母性衛生, 45(4), 489-495.

服部 律子. (2017). 周産期のメンタルヘルスケアの動向と助産師に求められる関わり. 助産雑誌, 71(4), 262-267.

Horiuchi, S., Kataoka, Y., Eto, H., Oguro, M., & Mori, T. (2006). The applicability of women-centered care: Two case studies of capacity-building for maternal health through international collaboration. *Japan Journal of Nursing Science*, 3, 143-150.

井田 歩美, 片岡 久美恵, 大橋 知子, 猪下 光. (2013). わが国における「出産満足」の概念分析-Rodgers の概念分析法を用いて-. 母性衛生, 53(3), 280.

飯田 真理子. (2010). 女性を中心としたケア-妊娠期尺度”の開発と その妥当性と信頼性の検討. 日本助産学会誌, 24(2), 284-293.

今井 晶子. (2020). 無痛分娩での助産ケア. 母性衛生, 61(3), 39.

石橋 千佳, 堀口 逸子, 角倉 弘行, 稲田 英一. (2014). 無痛分娩を選択した女性の出産満足度と母性意識について: ウェブ調査における 3 歳未満の児を持つ母親を対象に. 麻酔, 63(12), 1306-1313.

掛橋 祐子. (2007). 産婦の出産に対するイメージと出産体験の捉え方の検討～助産院で出産した産婦のお産の振り返りを通して～. 2007 年度聖路加看護大学大学院課題研究

鎌田 奈津. (2015). 硬膜外麻酔を用いて出産した褥婦の出産体験. 兵庫県立大学看護学部・地域ケア開発研究所紀要, 22, 55-67.

川邊 英代. (2014). 当院の無痛分娩が助産師の心の壁を壊すまで～無痛分娩導入前後における助産師の意識の変遷～. 分娩と麻酔, (96), 113-120.

厚生労働省. (2015). 「健やか親子 21 (第 2 次)ホームページ」. <http://sukoyaka21.jp/about> [2020-4-29]

厚生労働省. (2018). 「無痛分娩の実態把握及び安全管理体制の構築について」. https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu_Shakaihoshoutantou/0000203217.pdf [2020-4-29]

厚生労働省. (2020a) 「令和元年(2019) 人口動態統計月報年計(概数)の概況」. <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai19/dl/gaikyouR1.pdf>. [2020-6-9]

厚生労働省. (2020b). 「無痛分娩について 厚生労働省のウェブサイトに掲載を希望した無痛分娩取扱施設の一覧」. <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000186912.html> [2020-7-5]

松島 京. (2003). 親になることと妊娠・出産期のケア-地域医療と子育て支援の連携の可能性-, 立命館産業社会論, 39(2), 19-32.

松島 京. (2006). 出産の医療化と「いいお産」-個別化される出産体験と身体の社会的統制-. 立命館人間科学研究, (11), 147-159.

三國 和美. (2005). 麻酔分娩をどう考えていますか? 助産師側にある「麻酔分娩」への価値観. 助産雑誌, 59(6), 479-485.

Millicent Anim-Somuah, Rebecca MD Smyth, Allan M Cyna, Anna Cuthbert. (2018). Epidural versus non-epidural or no analgesia for pain management in labour. Cochrane Library.

三砂 ちづる, 竹原 健二. (2009)いいお産とはどのような体験か—豊かな出産経験を定義し, お産について再考する. 助産雑誌, 63(1), 22-31.

宮崎 智絵, 森 恵美, 岩田 裕子. (2020). 無痛分娩を選択した産婦へ実践している分娩期のケア. 母性看護, 60(3). 306.

水尾 智佐子, 安達 久美子. (2020). 「硬膜外麻酔分娩における助産師のケア」の概念分析~Rodgers の概念分析を用いて~. 母性衛生, 60(3), 280.

水尾 智佐子, 塩野 悦子. (2013). 妊娠期に無痛分娩を選んだ女性の出産に至るまでの体験. 日本助産学会誌, 27(2), 257-266.

森 晴加, 菱沼 由梨. (2020). 分娩期の産婦に満足をもたらす助産ケアに関する文献検討-出産場所ごとの比較-. 日本保健科学学会誌, (22), 37.

日本産科麻酔学会. (2019). 無痛分娩 Q&A 「Q20. 海外ではどのくらいの女性が硬膜外無痛分娩を受けているのでしょうか?」. <https://www.jsoap.com> [2020-5-18]

日本助産学会. (2020). エビデンスに基づく助産ガイドライン-妊娠期・分娩期・産褥期 2020. https://www.jyosan.jp/uploads/files/journal/JAM_guideline_2020_revised20200401.pdf [2020-5-22]

日本助産師会. (2020). 「助産師の声明・綱領」
<https://www.midwife.or.jp/midwife/statement.html>. [2021-1-19].

佐藤 愛. (2019). 自然分娩における女性の「産痛」の経験. 日本助産学会誌, 33(2), 142-152.

新村 出 編. (2018). 広辞苑第7版. 岩波書店.

宍戸 あき. (2011). アメリカの産痛緩和の紹介と、そこで感じること. 助産雑誌, 65(6), 479-485.

宍戸 恵理, 八重 ゆかり, 堀内 成子. (2018). 痛みおよび疲労についての予測と現実との

ギャップ 自然分娩 VS 無痛分娩. 日本助産学会誌, 32(2), 101-112.

大山 由香, 福山 由美. (2013). 満足のいく無痛分娩となるために—助産師の立場から—. 日臨麻会誌, 33(3), 404-410.

菅原 理紗, 浅岡 真紀, 横山 いずみ. (2017). 多様な出産に対応できる助産管理能力の必要性. 助産雑誌, (71)1, 28-34.

武田 順子. (2012). 主体的な出産・育児に向けて地域助産師が行う妊娠期の支援に関する研究. 岐阜県立看護大学紀要, 12(1), 3-14.

竹原 健二, 野口 真貴子, 嶋根 卓也, 三砂 ちづる. (2009a). 出産体験の決定因子—出産体験を高める要因は何か?—. 母性衛生, 50(2), 360-372.

竹原 健二, 野口 真貴子, 嶋根 卓也, 三砂 ちづる. (2009b). 豊かな出産体験がその後の女性の育児に及ぼす心理的な影響. 日本公衛誌, 56(5), 312-321.

田辺 けい子, 水尾 智佐子. (2020). 「助産」とは何か 改めてその専門性を問う—【対談①】—無痛分娩を通して助産を問う. 助産雑誌, 74(6), 402-410.

田中 えみ子, 諸伏 美雪, 常田 奈津美, 過能 綾子. (2017). 麻酔分娩を望む妊産婦とのかかわりの中で思うこと. 助産雑誌, (71), 1, 35-39.

常盤 洋子, 今関 節子. (2000). 出産体験自己評価尺度の作成とその信頼性・妥当性の検討. 日本看護科学会誌, 20(1), 1-9.

東京都カラーユニバーサルデザインガイドライン. (2011).
<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kiban/machizukuri/kanren/color.files/colorudguideline.pdf>. [2021-1-21]

次原 詩乃, 佐々木 規子, 宮原 春美. (2017). 出産自己評価に影響を及ぼす要因. 保健学研究, 29, 9-16.

日本助産学会. (2020). エビデンスに基づく助産ガイドライン-妊娠期・分娩期・産褥期 2020. https://www.jyosan.jp/uploads/files/journal/JAM_guideline_2020_revised20200401.pdf

[2020-5-22]

渡瀬 美祈. (2017). 麻酔分娩での関わる助産師の姿勢は変わらない. 助産雑誌, (71)1, 24-27.

WHO. (2018). “WHO recommendations Intrapartum care for a positive childbirth experience”
<https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/260178/9789241550215-eng.pdf> [2020-7-8]

WHO. (2021). https://www.who.int/health-topics/sustainable-development-goals#tab=tab_1
[2021-1-26]

山崎 かおり, 天野 美希, 小野 睦美, 田中 えみ子, 前田 和香子. (2017). 母性衛生, 58(3), 232.

Yoshioka T, Yeo S, Fetters MD. (2012). Experiences with epidural anesthesia of Japanese women who had childbirth in the United States. *J Anesth*, 26, 326-33.